

趣旨

博物館が核となって実施する地域文化の発信や、子供、学生、社会人等あらゆる者が参加できるプログラム、学校教育等との連携によるアウトリーチ活動、新たな機能の創造等を支援。
 本事業は、博物館の学校や地域との連携を促進するための「スタートアップ」的な支援事業であり、取組事例は広く文化庁HP等で公開。
 令和2年度要望額 560百万円(新規)

事業内容

- 1. 地域文化の発信の核となる博物館**
 - ・博物館の情報発信、相互連携
 - ・ユニークメニューの促進
 - ・地域のグローバル化拠点としての博物館（多言語化による国際発信等）
 - ・地域に存する文化財や文化・自然資源を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信
- 2. あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動・人材育成**
 - ・小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成（地域の子供を対象とした取組等）
 - ・大学と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発
 - ・社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施
 - ・障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業
- 3. 新たな機能を創造する博物館**
 - ・観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動
 - ・文化財や文化・自然資源の新たな保存管理・活用の手法の開発

【平成30年度取組例】



保育園へのアウトリーチ活動



中学校へのアウトリーチ活動



特養老人ホームのワークショップ



市営団地でのワークショップ



博図公連携モデル（巡回展）



日本美術会議（欧米専門家等）

補助

- 補助事業者
博物館を中心とした実行委員会等
- 補助金額
予算の範囲内において定額

積算

■ 積算件数 80件（1件7百万円）
 （参考）
 地域と共働した創造活動支援事業 H30年度：71件



ICOM(国際博物館会議)京都大会2019 記念シンポジウム 日本のミュージアムの未来

2019年9月に日本で初開催された第25回 ICOM (国際博物館会議) 京都大会2019。京都大会の振り返りを通じて、その成果と課題を再認識するとともに、日本のミュージアムの今後の展望について考察します。

事前登録制
参加費無料

京都会場
ICOM京都大会を振り返る — 成果と課題 —

2020年2月11日(火・祝) 14時 - 17時


京都国立博物館 平成知新館講堂 (京都市東山区茶屋町 527)

東京会場
ICOM京都大会の成果を生かす — 今後の博物館制度 —

2020年2月23日(日) 14時 - 17時

東京国立博物館 平成館大講堂 (東京都台東区上野公園 13-9)

主催：文化庁、ICOM京都大会2019組織委員会、ICOM日本委員会、日本博物館協会、京都国立博物館、東京国立博物館
お問い合わせ：office@icomkyoto2019.kyoto (ICOM京都大会準備室)

 **文部科学** 平成31年度文化庁「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」

ICOM(国際博物館会議)京都大会2019記念シンポジウム 日本のミュージアムの未来

第25回ICOM(国際博物館会議)京都大会が2019年9月に日本で初開催され、世界120の国と地域から4500名を超える博物館関係者が集いました。「文化をつなぐミュージアムー伝統を未来へ」というテーマで行われたICOM京都大会を参加者それぞれの立場から振り返り、ミュージアムが抱える課題と今後の展望についてディスカッションします。日本のミュージアムの未来を語るうえで重要な契機となったICOM京都大会に参加した方もしていない方もぜひこの機会にご参加ください。

京都会場

日時：2020年2月11日(火・祝)14:00-17:00(13:30開場)
会場：京都国立博物館

テーマ：ICOM京都大会を振り返る ～成果と課題～
定員：200名
事前申込制・無料・先着順 ※定員になり次第締め切ります

【基調講演】

吉田憲司(国立民族学博物館館長)

【パネルディスカッション】

▼モデレーター

・半田昌之(日本博物館協会専務理事)

▼登壇者

- ・東自由里(京都外国語大学教授)
- ・佐久間大輔(大阪市立自然史博物館学芸課長代理)
- ・五月女賢司(吹田市博物館学芸員)
- ・嶋和彦(浜松楽器博物館専門官)
- ・芳賀満(東北大学教授)

東京会場

日時：2020年2月23日(日)14:00-17:00(13:30開場)
会場：東京国立博物館

テーマ：ICOM京都大会の成果を生かす ～今後の博物館制度～
定員：350名
事前申込制・無料・先着順 ※定員になり次第締め切ります

【基調講演】

林良博(国立科学博物館館長)

【パネルディスカッション】

▼モデレーター

・半田昌之(日本博物館協会専務理事)

▼登壇者

- ・松田陽(東京大学准教授)
- ・後藤和子(摂南大学教授)
- ・佐々木秀彦(東京都歴史文化財団事務局企画担当課長)
- ・福野明子(国際基督教大学博物館館長代理)
- ・小林真理(東京大学教授)

お申し込み方法

詳細・お申込みはICOM京都大会のホームページから
<https://icom-kyoto-2019.org/jp>



ICOM京都大会2019報告会兼ワークショップ 新しいミュージアムの形とは？

博物館定義、持続可能性、防災、アジア美術など京都大会の核となるテーマを大会の参加者目線で振り返り、ワークショップを通して日本のミュージアムのこれからの形について、また日々のリアルな業務にどう役立つのか、一緒に考えてみませんか？

2020年1月13日(月・祝) 事前申込制・参加費無料

10:30-12:00 ICOM京都大会報告会

会場：京都文化博物館本館シアター 定員160名

対象：どなたでもご参加いただけます

13:30-16:30 ワークショップ

会場：京都文化博物館本館6階和室 定員50名

対象：博物館職員、博物館研究者向け(ICOM会員と同等の資格を有する方)

お申し込み方法

詳細・お申込みはICOM京都大会のホームページから
<https://icom-kyoto-2019.org/jp>



主催：京都歴史文化施設クラスター実行委員会、ICOM京都大会2019組織委員会、ICOM日本委員会